

われもこう

第85号

2013年9月25日発行

高槻ライフケア協会

題字 奥村 久榮 さん

マイスターの美味しいお米の話

川居精米所 川居 達志

JR高槻駅西口から南へ徒歩5分。高槻ライフケア協会が事務所をお借りしている川居精米所さんが、今年7月、新しいお米店をオープンされました。専務の川居達志さん(43歳)は、日本米穀小売商業組合連合会が認定するお米マイスターです。

——マイスターは、ドイツ語で巨匠とか師匠という意味ですね。『お米マイスター』について説明していただけますか。

(川居) かなり前から流通が変わってスーパーなどでもお米を扱うようになり、米屋でお米を買う人が減つくると同時に、ブレンド米のことが問題になりました。本来はお米どうしをかけあわせることによって美味しく感じていただけるようにすることがブレンドの目的ですが、質の落ちるものを混ぜてごまかすというようなことが横行してブレンド米のイメージが落ちてしまいました。

危機感を持った小売店の組合が、『お米マイスター』という資格を創って、資格を持つ人がきっちりやってますよというのがわかるようにしてブレンド米のイメージ回復を図ると同時に、スーパーとの差別化を狙ったという経緯があります。

——ブレンドすることで、お米が美味しいになるのですか。

(川居) 相性のいいものどうし上手く混ぜると、1ランク、2ランク上の味に仕上げることができます。例えば、粒がしっかりしてお米をメインに甘味のあるお米を加えると両方の良さを備えた米になると。

ただ、消費者のブレンド米に対する眼が厳しいので、味が良くなるとわかっていても、大手の販売業者はブレンドにはあまり手を出さない。単品で売る方が簡単なんです。ブレンド米の良さを伝えることができるのは、対面販売できる小売店ならではの強みだと思います。

——ではお米マイスターとは、お米について幅広い知識を持っているだけでなく、さらにお米の特性を活かして優れたブレンド米をつくりだせる人ということでしょうか。

(川居) そうですね。ブレンド力は重視されます。お米マイスターには三つ星と五つ星があって、僕はまだ三つ星なんです。五つ星になるには、自分で配合したブレンド米を試験

に出して会場で実際に炊飯します。審査員による食味の審査や、器械による成分測定など厳しい審査を経て、特に優秀と判断された人だけが認定されます。

——川居さんのお店でも、オリジナルのブレンド米を出しておられますね。試食させていただきましたが、とても美味しかったです。

(川居) 僕のお薦めのブレンドを『マイスター米』として店頭に出しています。値段はあまり高くしないで 5 キロ 2000 円切るくらいに設定して、その時あるお米で一番美味しいくなるように吟味しています。時期によって入るお米が変わるので、内容は次々変わります。

——全国にはいろいろなお米がありますが、取寄せて試したりするのですか。

(川居) データだけなら農林水産省や試験場のホームページでも知ることができます、感覚的なものは食べてみないとわかりません。気になる品種はできるだけ取寄せて自分で試すようにしています。

あとは…、旅先で、関西では流通していない米を見かけたらついいつ買ってきてしまいますね。道の駅なんかでも。(笑)

——魅力的なお米はありましたか。

(川居) 中部地方には、粒が大きくて美味しいお米が結構ありますね。名古屋という大消費地がひかえているせいか、残念ながら関西にはなかなか入ってこないのですが。

——農家から直接仕入れることはありますか。

(川居) 直接買付けに行くところは何軒かあります。農協を通すと等級の検査を受けないといけないのですが、直接米屋に売ると、農家はその手間が省けるし、米屋はその分安く入荷できる。未検査品扱いにはなりますが、内容がよければ美味しいお米をより安くお客様に提供できることになります。

——お米の値段には幅がありますね。

(川居) 味と値段はやっぱりある程度比例します。ただ、仕入れ値は入札で決まるので、評判なんかも影響します。埋もれた美味しい米を安く仕入れられることもありますね。

——マイスターに美味しいお米を選ぶポイントを教えていただきたかったのですが、単に銘柄を選ぶというだけではなさそうですね。

(川居) 売る方の立場で言わせてもらえば、好みを伝えてほしい…と思います。できるだけ応えていけるように努めたいです。

——仕入れもブレンドもお米屋さんの腕の見せ所なんですね。腕を磨いたり、勉強する時間も必要ですね。

(川居) 日常業務そのものが勉強だし、特にお客様との会話の中から刺激を受けて、自然に、もっとよくしていきたいという気になってやっています。嫌いでやってる商売じゃないですから。

——五つ星お米マイスターを目指しておられますか。

(川居) もちろん挑戦していくつもりです。

——7 月に新しいお店をオープンされました。どんなお店にしていきたいですか。

(川居) 来店者の多い店にしたいですね。お米の美味しさを紹介しつつ、自分好みのお米を見つけてもらったり、逆にお客さんからニーズをもらったり、工夫していきたい。お客様の層が厚くなったら、オリジナルのブレンド米をもう一種類、価格帯を変えて並べたいですね。

——ご活躍を期待しています。今日はありがとうございました。



介護職員初任者研修が修了しました

～受講生全員が修了評価試験に合格～



『介護職員初任者研修』2013年度春期コースが9月5日に無事終了しました。ヘルパー2級研修にかかる介護職の入門研修で、修了評価試験で一定の水準に達していると認められた者にのみ修了が認められます。受講生の皆さんには、当初から修了評価を意識して真剣に取り組み、全員一回目の試験で見事合格されました。

修了式当日は、研修の締めくくりとして、㈱かんでんジョイライフ人材育成部長の高山彰彦先生による就労セミナーを受講。人にとって自立とは何かを考えることで、介護職が果たすべき支援のあり方について改めて学びました。その後、修了式において、一人ひとり、川浪理事長より修了証明書が手渡されました。

～受講生の感想から～

- | | | |
|--|--|--|
| ◇講師の先生がそれぞれの分野で体験を積重ねられた貴重なお話を聞かせていただきました。 | 間の人間に対する態度・姿勢・こうあるべき本来の姿・基本的人間の心理など、とても勉強になりました。 | る仕事だと思います。 |
| ◇ベッドの上でのシャンプーは、本当に驚きました。寝たきりの方でも少しでも気持ちよくなつてもらうことができるのだと思いました。 | ◇介護に限らず、人に自分の価値観を押付けてお互いしんどい思いをしているのに気付きました。 | ◇高齢社会の中で、介護職は、介護を必要とする人のために専門的な技術で介助する大切な仕事だと思います。 |
| ◇徘徊に付き添ったり、幻視や幻覚を受け入れたり、認知症の人への対応の方法は興味深く思いました。 | ◇実習先では、教科書に書いていたことを実感できました。また、教科書では学べないことを学べました。 | ◇学んだことで気持ちの持ち方が変わりました。現在働いている事業所で生かせたらと思います。 |
| ◇良いと判断したことでも、他の人から見れば拘束や虐待と取られることもあるとわかりました。 | ◇介護とつながって、補装具や住居環境、建築、医療など幅広い分野の仕事と職業があるとわかりました。 | ◇困っている人や自立に向けて頑張っている人の役に立ちたいと思います。 |
| ◇尊厳についての講義では、介護職の範囲を超えて、人 | ◇介護職は、人との深い関わりを通してお互いに人として学びあえる場が与えられています。 | ◇一人ひとりのことを少しでも理解して、その人が少しでも暮らしやすいようお手伝いができるいいなと思います。 |

デイだより

朝、東の窓から入る強い日差しに、ああ、今日もまた猛暑の一日かとうんざりする日々が続きました。デイでは熱中症予防に心掛けて、手作りの梅干しをつまんでいただきたり、紫蘇ジュースを飲んでいただいたりしました。

七夕には、「元気に楽しく過ごせますように」「目がよくなつて趣味の梵字が書けますように…」等、色々な願いを短冊に託し笹に飾りつけました。午後のお茶の時間には、ところ天を天の川にみたててまわりにピンクや緑の星を飾り「夜空の天の川」をイメージした涼しそうなかわいいおやつもお出ししました。

8月は共同作品の壁画作りに取り組み

ました。ピンク・緑・紫と、手をベトベトに汚しながら卵の殻に絵の具で色を塗りました。その殻を細かくちぎって、「朝顔」や「ひまわり」の下絵に貼っていくと、光沢のある高貴な素敵な作品ができあがりました。

9月には、恒例の秋祭りを行いました。今年は室内で、紅白の幕の代わりに手作りのちょうちんを飾り、マイうちわも作りました。ヨーヨー釣りに的当てゲーム、たこ焼きと、お祭り気分はクライマックスへ。最後は全員で、うちわを片手に『きよしのソーラン節』や『炭坑節』を楽ししく踊りました。



発想転換の介護 講演会

講師 介護福祉士 中田 光彦 さん

若い頃の中田さんは、勤務していた特別養護老人ホームの入居者100人の一人ひとりから希望を聞きとり、実践されました。寝たきりや認知症などハンディのある人たちの居酒屋、海水浴、お墓参りに付添うことをはじめ、利用者の笑顔と意欲をひきだす実践は高く評価され、ホームヘルパーの仕事に関わりながら、講演や著作、TVドラマ「任侠ヘルパー」の介護監修など活躍されています。利用者の「したいこと」を目的に、心身の状態に合わせた、“楽しくなる”介護の秘密が明かされます。介護に関わる家族、従事者、介護について関心のある方は、ぜひ、ご参加ください。

とき 2013年11月22日（金曜日）午後6時30分～（開場午後6時）

ところ 高槻現代劇場 207号室

定員 70名（事前に参加券をご購入ください） 参加費 一人 950円

主催 社会福祉法人 高槻ライフケア協会

1階 生活介護

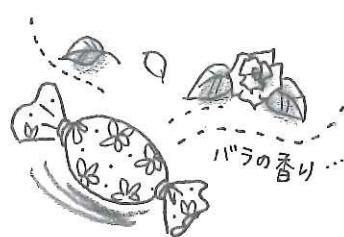
今年は例年ない暑さで、夜中、冷房を効かせすぎて風邪をひいての入院や、反対に熱中症で救急車で運ばれた利用者もありました。そんな厳しい中でも、たくさんの方が、「朋(とも)に来るのが楽しみ」と毎朝元気な笑顔を見せてくださったのは嬉しいことでした。

8月の終わりの1週間、恒例の夏祭りを開催しました。手作りのちようちんを飾り、出し物は、輪投げ、魚釣り、ボーリング。木切れを組んで作った輪ゴム鉄砲の射的は、昔懐かしい感じで好評でした。食べ物は一錢焼とかき氷を用意し、ハワイアンミュージックをかけて盛り上げました。景品もお楽しみのひとつで、「あっちの方がよかったです」と残念そうな顔の利用者に、「じゃあ交換」とス

朋(とも)だより

ツがこっそり希望のものを手渡すと、嬉しそうににっこりされました。

9月には、乾燥させたバラの花びらを布でくるんでポプリキャンディを作りました。片手が不自由でも口で上手に紐を巻いて結ばれた方や、ビッグサイズのポプリにされた方、針と糸を使って匂い袋の形にした方などいろいろでした。できあがったものは、敬老の日のプレゼントに、2階の利用者の皆さんにお届けしました。「いい匂い」と喜んでくださったり、握手を求められたり、触れ合いのひと時を過ごすことができました。



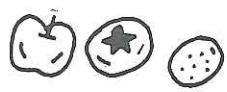
2階 小規模多機能型居宅介護

利用者のOさんは、時々、北側の窓の外を見ながら「お隣のびわはいっぱいなってるなあ」「柿の枝がこっちに伸びてるわ」と果実の成長を季節の移り変わりとともに見守っておられます。西側の窓の外には大きなヘチマができています。

利用者にカキ氷をお出しすると、Kさんは「子どもの頃、よう食べたなあ」とつぶやいておられました。「あ～冷た、頭がキーンてなるわ」と言わされたSさんに「ちょっと舌を出してみて」とお願ひすると、Iさんが「わあ、舌がまっかっか

や」と大笑い。「あんたも出してみ。ほら、まっかっかや」と、フロア全体が、子どもの頃に戻ったような和やかな雰囲気に包まれました。皆さんと笑いながら、暑い夏を元気に乗り切ることができました。

井上さんから頂いた『かつらうり』を地元の吟醸酒粕に漬込みました。8月末から食卓にあがり、賞味しています。



高槻町研修室『うらら』を開室

整備をすすめてきた高槻町の新研修室は、『うらら』と名付けられ、8月末、書道家城野艸心先生の手になる看板がかかげられました。うららかな日和の似合う築70年余の古民家に見事に融合し、趣のある玄関となりました。

内部には新しい畳を入れ、研修に必要なベッド2台を設置。8月には、ADE研修を実施することができました。

JR高槻駅、阪急高槻市駅のいずれからも徒歩5分程度と交通の便が良く、今後は、初任者研修の実技演習はじめ、各種研修の会場として利用していく予定です。



整備にご協力をお願ひします

『うらら』では、まだまだこれからも、研修用備品に加えて日用品などの整備が必要です。今後とも、ご寄付、物品の提供などご支援をお願いいたします。

☆特に下記の物品が必要です。ご家庭で不要の物がありましたらお声かけください。

男性用パジャマ、男性用浴衣、バスタオル、タオルケット、シーツ、クッション(どんな形でも)、座布団、枕、枕カバー、カーテン、布きん、タオル、急須、湯のみ、コーヒーカップ、小スプーン、小フォーク、お盆、冷蔵庫、電子レンジ、コーヒーメーカー、脚立、本棚、文具等

(勝手ですが、未使用品か、汚れや傷みの少ない物をお願いいたします)



第5回 食の文化祭

ジャズの演奏を聴きながら、高槻の「食」を楽しむ『食の文化祭～高槻ジャズとグルメフェア 2013』が、10月12日(土)と13日(日)の二日間、高槻城跡公園と市民グランド一帯で開催されます。高槻の農水産食品が展示販売される他、市内で人気の飲食店も出店します。

社会貢献のひろばに参加します

爽やかな秋の一日、お散歩がてらぶらりと訪れてみてはいかがでしょうか。

高槻ライフケア協会は、12日(土)、社会貢献のひろばに出店し、協会の活動を紹介するとともに、飲み物やリサイクル品の販売を行います。あわせてお立ち寄りください。

サービス提供実績報告

◇社会福祉法人

《訪問介護事業》

	2013年6月～8月
利用件数	3,114 件
利用時間	2,497.03 時間
生活援助	1,496.04 時間
身体介護	1,000.99 時間
介護予防	717.63 時間

《移動支援事業》

	2013年6月～8月
利用件数	668 件
利用時間	1,880.5 時間

◇特定非営利活動法人

《福祉移送サービス》

	2013年6月～8月
利用件数	13 件
利用時間	840 分
利用距離	260 km

物品販売にご協力ください



□産直りんご

長野県の岩下りんご園から秋の味覚です。

*シナノスイートやシナノゴールド
(10月10日～) ご相談下さい

*サンふじ(11月10日～)

2Lサイズ 5kg 4,000円
Lサイズ 5kg 3,800円
りんごジュース

1箱6本入り 4,200円

□コーヒー(豆、挽)

ブルマンとジャマイカのブレンド

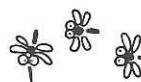
1kg: 1,700円 500g: 850円

《障害者居宅介護事業》

	2013年6月～8月
利用件数	2,993 件
利用時間	3,565.75 時間
家事援助	949.25 時間
身体介護	1,514.00 時間
通院介助	295.50 時間
重度訪問介護	307.0 時間
同行援護	500.0 時間

《ケアワーカー派遣サービス》

	2013年6月～8月
利用件数	441 件
利用時間	383.0 時間
家事援助	190.5 時間
身体介護	76.5 時間
社会的援助	174.0 時間



あんしんサロン



「漫談と玉すだれを楽しむ」交遊亭楽笑さん

10月13日(日) 14:00～16:00

くらし創造の家 朋(とも) 2階 100円(お茶代)

□島原手延べ素麺 眉山の糸

長崎県島原市の白山製麺製です。

1kg～5kg : 1,200円～5,300円

*高柳市、茨木市、島本町、枚方市は

送料無料(その他の地域は実費)

□おとひめこんぶ

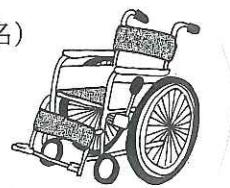
1袋: 500円

南北海道櫻法華村の黒口浜一帯で育成された真昆布一年物です。

受講生募集中

□移動支援従業者養成研修 11月20日～12月5日（定員各15名）

- ・全身性障がい過程（4日間） 17,500円
- ・知的障がい過程（5日間） 16,000円



ご協力に感謝します

<社会福祉法人> 2013年4月1日～8月31日（敬称略・順不同）

◇寄付金 累計 2,762,808円
 小玉庸子、服部章子、池上澄雄、鈴木みどり、小谷啓二、鳥本二三夫、小山周一、大庭豊子、梅田和子、久保田光二、医療法人健和会うえだ下田部病院、税理士法人平成事務所、室田千津子、松崎貴之、田邊正也、川戸初子、吉川信子、久保秋雄、宮森公隆、岸根正博、久良善子、篠倉健志、幸森久子、岩田由美子、尾畠美智子、有限会社川居精米所、佐々木映世、竹中和枝、大林匡子、波多野和子、下山節庫、三俣玲子、木谷とみ江、新保幸子、高野孝、川浪スエ子、池

田繁、山縣美智恵、石川理子、毛戸裕子、服部章子、堀越眞弓、中島恵子、古井ひとみ、眞殿絢子、丸岡トシミ、細部伸明、三原道恵、濱田了子、高橋郁子、丸山美紀、奥田歯科、古元美枝子、宮脇郁子、船上利男、牧口明、三好吉夫、西嶋和子、西島厚子、嶋田君子、小林フジ子、市谷栄一。

◎社会福祉法人高槻ライフケア協会への寄付金は、確定申告の際、税額控除制度の適用を受けることができます。

<NPO 法人>

◇後援会費 累計 372,000円
 野崎譲、NPO 法人トークプラザ結い、吉川信子、医療法人光愛会光愛病院、高野孝、宮脇郁子、小川澄子、松野佳三、中山幸子。

【編集後記】

台風18号が日本列島を縦断していきました。見慣れた美しい風景が一変し、渦流が波をたてて轟々と流れるニュースを見た時は、自然の脅威に驚かされます。30年前、冬の朝に誰もいない渡月橋を渡ったことを思い出しました。あまりにも寒く、美しい朝でした。毎日を平穏におくれることのありがたさを感じます。

《追悼》

加茂野博子様が7月21日に、三崎幸様が7月23日に、ご逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

社会福祉法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町5-7

TEL (072) 683-4945

特定非営利活動法人高槻ライフケア協会

〒569-0802 高槻市北園町4-19

TEL (072) 682-4119